

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



「目に浮かぶ情景、ふるさとへの思い」

(1/25) スプリングスひよし、日吉ダム10周年記念事業川柳・絵画表彰式

スプリングスひよし開業と日吉ダム運用開始10周年を記念して募集した川柳と絵画には、市内外から多数の作品が寄せられました。どの作品にも、温泉やダムに寄せる思い、情景が目に浮かぶように描かれています。川柳の部最優秀賞(南丹市長賞)として、温泉部門には田中忠夫さん(日吉町)の「湯けむりに 笑い声して 里じまん」が、同じくダム部門には井尻豊貞さん(亀岡市千代川町)の「湖底より あの日の歓声 こだまする」が入賞。絵画の部には、兄弟そろって応募してくれた藤林ゴウくん(吉富小4年)、シュウくん(同)の作品がそれぞれ特別賞に入賞。1月25日にスプリングスひよしで表彰式を行った後、参加者全員でもちつきを行い、受賞を祝いました。

応募全作品は、5月6日まで日吉ダムビジターセンターに展示しています。



▲受賞者の田中さん(右)に副賞の日吉特産品が贈られました

「子どもとの触れ合いを大切に 家庭・地域で子育てしよう」

(12/14) 南丹市青少年すこやかフォーラム

子どもの健やかな成長を地域や家庭で支えていくことを目指すフォーラムが園部公民館で開催されました(南丹市要保護児童対策地域協議会・南丹市青少年育成協会・南丹市PTA連絡協議会主催)。「3年B組金八先生」などの脚本家、^{おさない}小山内美江子氏を講師に迎え、子どもの話を聴く、抱きしめるなど、触れ合いの大切さを考える機会となりました。また、カンボジアでの日本の大学生らとの学校建設活動の話に、参加者は深い感銘を受けておられました。



▲自身の経験をもとに語りかける小山内さん

「味自慢が勢ぞろい 隠し味は心配り」

(1/22) 南丹地域ふるさと加工食品研修会



▲専門家に加工食品の講評を受ける参加者

地域の特産物の普及、加工品づくりに取り組むグループの研修会が市国際交流会館で開催されました(南丹地域農村女性・加工研究会主催)。総菜やつくだ煮など自慢の35品が並び、専門家の指導を受けました。同研究会会長の松本多美子さん(八木町)は「人においしいと言ってもらうことが一番の生きがい。おいしいものを食べると心が和むし、そのためには衛生面や保存への配慮が必要。本日の研修を各グループの活動に生かしてほしい」と笑顔で話しておられました。